ii-nuts!! い～なっつ！りぽーと

第20回 うぇるかむすぷりんぐコンサート

3月6日

再開しました、うぇるかむすぷりんぐコンサート。
再会しました皆さんと！
「お久しぶりです！お元気でしたか？」
「お会いできて、嬉しいです」
で始まった、第 20 回うぇるかむすぷりんぐコンサート。

マスク手袋着用でお出迎え

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、昨年（令和２年３月）のすぷりんぐコンサートから、稲津まちづくり事業の舞台使用等を中止してきました。
「感染を恐れて、中止にすることは簡単ですが…」なんとかして再開できないか、まちづくりスタッフと演者さんと考え、「工夫しながら開催しましょう」ということになりました。
コロナ対策も十分、午前の部・午後の部１公演定員50名と制限し、延べ91名で会場は盛り上がりました。
出演者はフェイスシールドとライトで表情が見えにくい時もありましたが、そこは演技力・歌唱力でカバー！笑顔や感動が伝わってきました♪

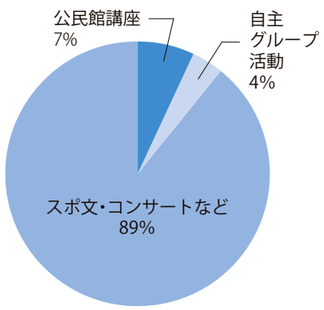
客席もソーシャルディスタンス

フェイスシールドをしてても
伝わってくる感動！

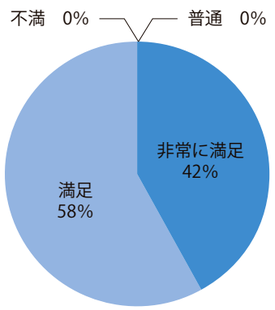
公民館利用者アンケートを実施しました。

171名（男性49名・女性122名）から回答をいただきました。結果を検証し令和３年度公民館運営に反映します。

Q 公民館利用目的



Q 公民館講座の感想



意見・要望
・ホールのほうきを交換してほしいです。（交換しました。）
・広い部屋で密にならず良い環境でできている。
・ロビーの活用がうまくなされている。

どんな講座があったらいいですか？の質問には、着付け教室、バランスボール、アクセサリー作り、漢詩教室、野菜の栽培、発酵料理などのご意見をいただきました。
ご協力ありがとうございました。たくさんのご意見・ご要望をいただきました。令和３年度は新型コロナウイルス感染症対策をし、安全に来館していただけるよう努めてまいります。

		2月1日現在	3月1日現在	増減
人口	男	2,103　人	2,096　人	−7
	女	2,180　人	2,179　人	−1
	計	4,283　人	4,257　人	−8
世帯数		1,715　世帯	1,709　世帯	−6

	不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小　里	4月15日	4月22日
	5月19日	5月25日
萩　原	4月14日	4月21日
	5月18日	5月24日

ii-nuts!!ギャラリー

５月は端午の節句を予定しています。

花いっぱいお雛様

気分だけでも明るくなっていただきたくて、バルーンアートのお花をお雛様の周りにたくさん飾りました。
浮かんで見えるように天井からも風船を18個吊るし、ロビーが賑やかになりました。

4月の稲津さん

故郷にマスクをプレゼント

ロゲロジェイロールレイソンさん
（28歳）　産郷

フィリピンで小学校教師をしているロゲロさんの従姉から「効果のある不織布マスクが足りない。子どもたちの分も届けてほしい。」との要望がありました。現地では高額なマスク、「自分も社会人となって働いているので少しでも手助け出来れば」と思い、2,000枚のマスクを贈られました。「多くの子どもたちの助けになれば嬉しいし、医療従事者の負担が少しでも軽くなるようにと願っています。」
また、「稲津町は、平和で穏やかで皆仲良く、明るい町。行事も色々あってすごいと思います。」と話されていました。

公民館ってどんなところ？

公民館は、地域住民のために社会教育（生涯学習）を推進する拠点施設としての中心的役割を果たしており、仲間同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献します。

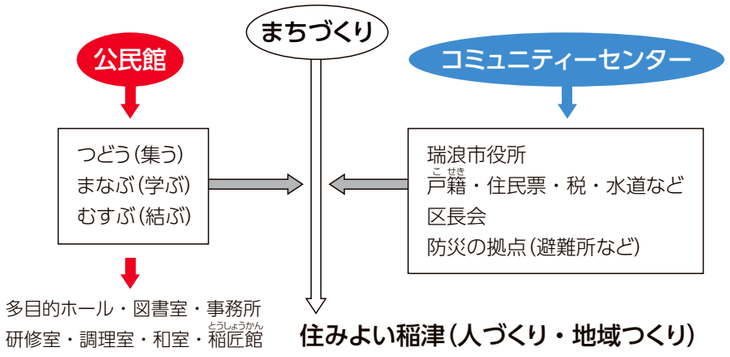
①つどう……生活の中で気軽に人々が集うことができる場です。

②まなぶ……自らの興味に基づいて、知識や技術を学ぶための場です。

③むすぶ……地域のさまざまな機関や団体の間のネットワークを形成します。

稲津公民館は、瑞浪市から指定管理を受けたＮＰＯ法人明日の稲津を築くまちづくり推進協議会が管理・運営しています。稲津で行うまちづくり事業の拠点としての役割も果たしています。

稲津公民館の仕事（役割）



館長コラム

さくら

春の息吹が感じられる今日この頃。菜の花、チューリップ、たんぽぽなど様々な花が咲き乱れる季節となりました。中でも「桜」、「さくら」、「サクラ」、「SAKURA」と童謡をはじめ多くの曲（SONG）が歌われてきました、春を代表する花といえば桜です。桜前線が北上します。小里城跡の桜、稲津の町を囲む山々には山桜の花が例年より早く、咲き誇っています。
桜の木は非常に根を張る木であり、ほかの木よりもしっかり地面を固めてくれる効果があります。江戸時代中期に始まったと言われるお花見の風習により、人が集まり土を踏み固めてくれる。そして川の氾濫を抑える効果もあるそうです。
昨年度はコロナ禍の中、まちづくり事業も思うような事業展開ができない1年でした。今年は安全安心に配慮した事業を進めていきたいと考えています。皆さんが参加してもらうことで桜の木のように稲津の地に大きく根を張り、きれいな花を咲かせることができるよう頑張ります。まちづくり事業を通して、様々な花が咲き乱れる心豊かな町であるよう今後とも町民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

（M）